

氏名	詫 間 義 隆
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 号
学位授与の日付	平成16年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	hTERT gene amplification in hepatocellular carcinoma (肝細胞癌における human telomerase reverse transcriptase(hTERT)遺伝子の増幅)
論文審査委員	教授 田中 紀章 教授 清水 憲二 助教授 池田 正徳

学位論文内容の要旨

【目的】癌の不死化にhTERTは重要な因子であるがhTERT geneとtelomerase活性の関連は不明である。いくつかの癌細胞でその増幅と発現との関連が報告され、今回、肝細胞癌のhTERT geneの発現増幅と病理学的因子との関係について検討した。

【対象と方法】対象は肝癌切除組織46症例から癌非癌部よりhTERT gene のDNA量をリアルタイムPCR法で測定し、RT-PCR法でhTERT mRNA定量を行った。

【結果】肝癌の21.7%にhTERT geneの増幅が認められ、さらに低分化の増幅は、高中分化に比べ有意に高かった(p=0.012)。hTERT geneの増幅群の腫瘍径は非増幅群に比べ有意に大きかった(p=0.047)。hTERT遺伝子増幅は癌部にのみ認められ、hTERTmRNAの発現と遺伝子量との間には相関を認めなかった。

【結論】hTERT 遺伝子増幅は癌特異的で肝癌の脱分化や進展に関わっているが、その発現はhTERTの遺伝子量とは関連性がほとんどないと思われた。

論文審査結果の要旨

本研究は肝癌に於ける hTERTgene の増殖と telomerase 活性および病理学的因子との関係について検討したものである。肝癌切除組織の癌部、癌非癌部の hTERTDNA 量をリアルタイム PCR 法で測定し、RT-PCR 法で hTERTmRNA 定量を行った。その結果、肝癌の 21.7%に hTERTgene の増幅が認められ、その増幅は癌の分化度の腫瘍径と相関を示していた。hTERT 遺伝子増幅は癌部にのみ認められ、hTERTmRNA の発現と遺伝子量との間には相関を認めなかった。

本研究は hTERT 遺伝子増幅の肝癌に於ける意義を示したもので、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。